

アクセス17 「む・むず・べし」推量以外の働きとその識別

1 活用の型

助動詞	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用型	接続
む	(ま)	○	む	む	め	○	四段型	未然形
むず	○	○	むず	むずる	むすれ	○	サ変型	未然形
べし	(べく)	べく	べし	べき	べけれ	○	形容詞型	終止形
べから	べかり	○	○	○	○	○	ラ変型	連体形

2 「む」の意味は「スイカカエテ」で覚える。

「スイカカエテ」とは、推量(〜だろう)、意志(〜たい)、勧誘(〜なさい)、仮定(〜たら)、婉曲(〜よつな、適當(〜がよい)の六つの意味。

このうち、推量・意志の用法が圧倒的に多い。

推量：弱い語調(想像・予定を表す文脈)

意志：強い語調(意欲・決意を表す文脈)

\*判断の目安：推量は主語が三人称、意志は一人称。

勧誘・適當：弱い語調(よりよい選択をうながす文脈)、主語が二人称

仮定・婉曲：直後に体言がある、あるいは体言を補うことができる場合

3 「むず」の意味は、おおむね推量・意志の二つである。

4 「べし」の意味は「スイカトメテ」で覚える。

「スイカトメテ」とは、推量(〜だろう)、意志(〜たい)、可能(〜できる)、当然(〜べきだ)、命令(〜なさい)、適當(〜がよい)の六つの意味。

初めに可能な意味を入れ、あてはまらない場合

弱い語調 ↓ 想像・予定 ↓ 推量

↓ よりよい選択 ↓ 適當

強い語調 ↓ 意欲・決意 ↓ 意志

↓ 真理・常識 ↓ 当然

↓ 命令・説得 ↓ 命令

と判断。

Q1 次の各文の〈 〉内の助動詞を適當な形に活用させ、その文法的意味をそれぞれ答えなさい。

- 1 我は討ち死にせ《む》と思ふなり。
- 2 世にあら《むず》者なり。
- 3 羽なければ、空をも飛ぶ《べし》ず。
- 4 作文の船にぞ乗る《べし》ける。
- 5 頼朝が首をはねて、わが墓の前に掛く《べし》。
- 6 衣食尋常なる上に僻事せ《む》人をぞ、まことの盗人と言ふべし。

⑤	③	①
⑥	④	②

Q2 次の①～④の「む」「め」「め」の文法的意味を、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- 1 われこそ死なめ。
- 2 とくこそ試みさせ給はめ。
- 3 つれづれわぶる人は、いかなる心ならむ。
- 4 花見してまからむときの歌一首。

- ア 推量                      イ 意志  
ウ 勧誘・適當            エ 仮定・婉曲

アクセスライター

「スイカカエテ」を覚えよう。

ス 推量

イ 〃

カ 〃

カ 〃

エ 〃

テ 〃

「スイカトメテ」を覚えよう。

ス 推量

イ 〃

カ 〃

ト 〃

メ 〃

テ 〃